

# 7 乱発される紙幣

紙幣価値の下落  
Over-Issuance of Paper Money



## 西南戦争と松方財政

The Seinan Civil War and the Value of Paper Money

西南戦争の戦費などをまかなうため、政府紙幣や国立銀行紙幣が増発された。紙幣価値が下落するなか、1881(明治14)年に大蔵卿となった松方正義は、紙幣価値の回復を目指し、増税や官営事業払い下げなどにより、金貨・銀貨の蓄積と紙幣の回収を進めた。

### 西南戦争の際に発行された紙幣

西南戦争は、明治政府の方針に反対する旧薩摩藩士族の一部が、西郷隆盛を押し立てて起こした。西郷軍も、これを鎮圧しようとした明治政府も、紙幣発行により戦費を調達した。



政府紙幣 新紙幣  
New Government Note



国立銀行紙幣 第十五国立銀行  
The 15th Japanese National Bank Note

最大の国立銀行であった第十五国立銀行は、鉄道事業への投資を主な目的に華族(旧大名)により設立された。しかし設立当初は、西南戦争の戦費調達のための政府への貸出が主な業務となった。



西郷軍が発行した紙幣 西郷札  
Military Note Issued by Anti-Government Forces in the Seinan Civil War of 1877  
1877年



### memo 西南戦争の様子を描いた錦絵



左上に西郷札の図柄や額面などが書かれている。

## 西南戦争後の紙幣価値の下落

西南戦争が起こった1877年から翌年にかけて政府紙幣と国立銀行紙幣の発行が増え、その後紙幣の価値が下落した。



銀貨1円  
紙幣1円70銭  
1881年には、銀貨1円と引替えるために約1円70銭の紙幣が必要であった。

紙幣価値の下落を風刺した錦絵  
A Woodblock Print Depicting the Declining Value of Paper Money

役人の服を着た政府紙幣と着物を着た米俵が、首引きをしている。政府発行の金貨・銀貨に支えられた政府紙幣が、豆や酒などさまざまな品物の応援を受けた米俵に引きずられている。

「欲の戯ちから戯」

## 松方財政と紙幣価値の回復

松方正義は、増税や官営事業払い下げなどにより財政を改善させ、金貨・銀貨の蓄積と紙幣の回収を進めた。これによって物価は下落し、紙幣の価値は回復に向かった。



松方財政による物価の下落を風刺した錦絵  
A Woodblock Print Depicting Deflation Under the Austerity Policy  
1883年

山を下る人々が被っている笠には当時値下がりしていた食品や衣類などの品名が書かれている。

「不二諸品下山之図」

### memo

#### 東京・大手町にあった紙幣寮



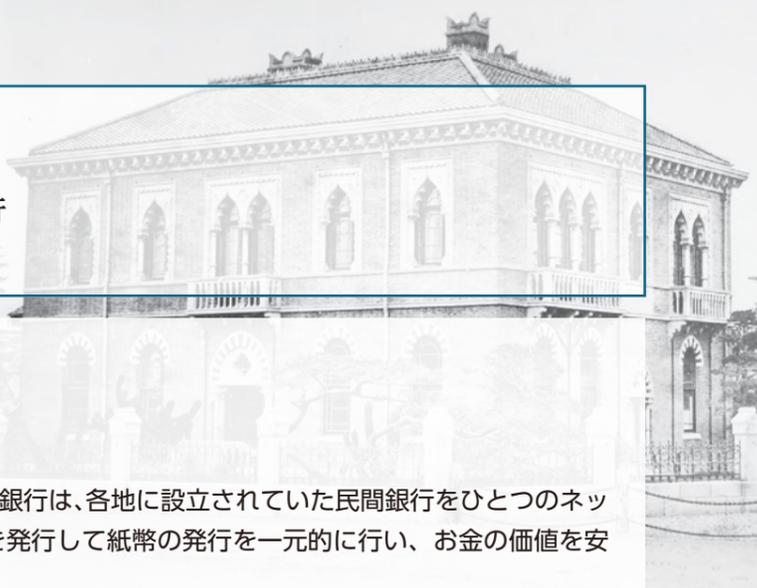
「東京名所常盤橋内紙幣寮新建之図」

紙幣寮は1871年に大蔵省紙幣司として設立された。当初は紙幣の発行など紙幣政策全般を担った。

1896年、大手町の紙幣寮から江戸城外堀を挟んでほど近い場所に日本銀行本店が移転してきた。

# にちぎん誕生

日本銀行の設立と日本銀行券の発行  
The Founding of the Bank of Japan



## 日本銀行券の発行

The Earliest Bank of Japan Notes

1 882(明治15)年、日本銀行が設立された。日本銀行は、各地に設立されていた民間銀行をひとつのネットワークとして結びつけるとともに、銀行券を発行して紙幣の発行を一元的に行い、お金の価値を安定させる役割を担うこととなった。

### 開業当初の日本銀行

日本銀行は開業後すぐには銀行券を発行せず、政府とともに、過剰となっていた政府紙幣や国立銀行紙幣の回収事務を行い、また民間銀行とのネットワークづくりを進めた。



「永代橋際日本銀行の雪」

#### ◆日本銀行の役割

- 日本銀行設立に際して松方正義大蔵卿は、次のように述べている。
- ・中央銀行を創立する理由は金融の流れを円滑にすることである。
  - ・一国の経済の中で金融が果たす役割は、あたかも人間の体の中を血液が循環して手足の動きを助けるようなものである。
  - ・中央銀行は経済に「お金」という血液を送る心臓のような存在である。

#### 開業時の日本銀行の建物

The Bank of Japan Building in Its Early Days  
日本銀行は、1882年10月に永代橋際(現・日本橋区本町)にある洋風の煉瓦づくりの建物を本店として開業した。この建物はその前年に北海道開拓使の物産売捌所として建築され、開拓使が1882年に廃止されるまで使用されていた。

### 日本銀行券の発行開始

日本銀行は、紙幣価値が回復した1885(明治18)年に最初の日本銀行券を発行した。最初の日本銀行券は、銀貨との兌換が保証された「兌換銀券」であった。

#### 最初の日本銀行券

大黒の像が描かれ、「大黒札」とよばれた。



原寸



旧百円券  
100 Yen Bank of Japan Note  
1885年



旧五円券  
5 Yen Bank of Japan Note  
1886年

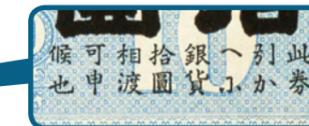


旧一円券  
1 Yen Bank of Japan Note  
1885年



旧十円券 10 Yen Bank of Japan Note 1885年

日本銀行券には、銀貨との兌換を保証する「此券引かへに銀貨拾圓相渡可申候也」という言葉が書かれている。



一円銀貨 10枚

### 改造紙幣

最初の日本銀行券は虫害やインクの変色などの問題が発生し、新しい様式に改められた。以後、日本銀行券には人物の肖像画が描かれた。



改造百円券  
100 Yen Bank of Japan Note  
1891年



改造五円券  
5 Yen Bank of Japan Note  
1888年

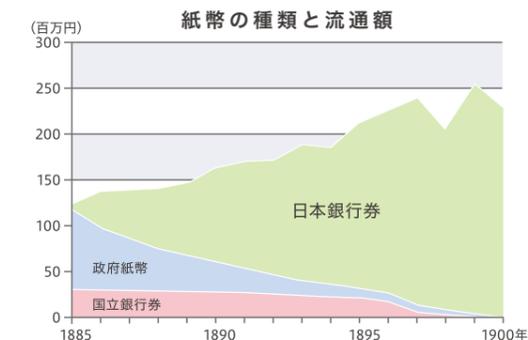
memo

### 日本銀行券による紙幣の統一

発行当初より日本銀行券は円滑に流通し、銀行券を一元的に発行する中央銀行制度の基礎が整った。国立銀行紙幣と政府紙幣は1899年末に通用停止となり、紙幣は日本銀行券に統一された。



改造十円券  
1890年



# 日本銀行本店 —日本橋本石町へ移転—

The Bank of Japan Main Building at the New Site: Nihonbashi-Hongokucho

1896 (明治29) 年、辰野金吾の設計による日本銀行本店の建物が完成し、日本銀行本店は永代橋際から江戸時代の金座の跡地である現在の場所 (日本橋本石町) に移転した。

日本銀行本店竣工 1896年



着工は1890年。三階建地下一階、外壁は石積みで、内側は煉瓦積み。重要文化財 (1974年指定)。設計者の辰野金吾はジョサイア・コンドルに師事し、日本銀行本店本館の設計以降、明治期の日本銀行支店建築全てに携わった。その他、主な作品に東京駅 (中央停車場) や旧両国国技館などがある。



甲百円券  
1900年

竣工後間もなく発行された日本銀行券。中央に日本銀行本店がデザインされている。



## 日本橋の金座と日本銀行本店



「分間江戸大絵図 完」(部分) 江戸時代末期  
現在日本銀行本店がある場所には、江戸時代には「金座」があった。



「市郡変称東京全図」(部分) 明治時代後期

# 9 金本位制の導入

欧米システムへの本格的参加  
Adoption of the Gold Standard



## 金本位制とは？

What Is the Gold Standard?

**金** 本位制とは、円やドルといった自国のお金の価値を一定量の金と結びつけ、金と自国のお金との交換 (兌換) を保証する制度である。19世紀後半から20世紀初めにかけて、イギリスをはじめ世界の主要国は金本位制を採用していた。日本も1897 (明治30) 年に金本位制を導入した。

## 貨幣法による新しいお金

日本政府は、1897年に「貨幣法」を制定し、金0.75gを1円と定めた。



二十円金貨  
20 Yen (Gold)



十円金貨  
10 Yen (Gold)



五円金貨  
5 Yen (Gold)

◆新貨条例 (1871年) による金貨の扱い  
新貨条例制定から貨幣法制定までの間に、銀に対する金の価値は世界的に約2倍となり、金1.5gは約2円になった。そこで、新貨条例 (金1.5g=1円) に基づく金貨は、貨幣法のもとでは額面の2倍で通用することとされた。

## 金本位制のもとで発行された日本銀行券

金本位制のもとで発行された日本銀行券は、金貨との兌換が保証された「日本銀行兌換券」となった。



甲十円券  
10 Yen Bank of Japan Note  
1899年

「此券引換二金貨拾圓相渡可申候也」と書かれている。



十円金貨  
10 Yen (Gold)

## ◆金本位制導入の効果

金本位制のもとにあった国々の間では、固定された為替レートで自由に資金のやりとりができた。日本も金本位制を導入した後、貿易や金融の面で欧米諸国などの結びつきが強まった。



# 10 お金の使われ方

## The Use of Money in Modern Society

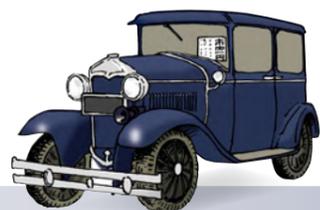


### 消費社会の広がり

The Emergence of an Urban Consumption Society

**大** 正から昭和初期にかけて、都市部では、鉄道沿線の住宅地に家族で住み、平日は電車で通勤する人々が増えていった。平日の夕方に駅前の商店街で食料品や日用品を買い、週末には都心のデパートや郊外の行楽地でレジャーを楽しむという生活スタイルが広がった。

### 1円で買えたもの



「円タク」  
One Yen Taxi  
市内1円均一のタクシー



1円札  
1 Yen Bank of Japan Note



「円本」  
One Yen Book  
大正末期から昭和初期にかけて出版された定価1円の文学全集。それまでに比べて格安だったため、出版ブームを巻き起こした。

### 日常の買い物



「買い物双六 デパートメントストア」より  
**デパートの食堂**  
A Department Store Dining Room  
メニューの一例  
御子様用洋食 30銭  
ハヤシライス 15銭

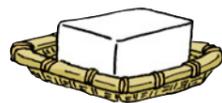


小樽の公設市場 小樽市総合博物館蔵  
**公設市場**  
A Municipal Market  
消費者に安い商品を提供する店を集めた公設市場を運営する自治体もあった。



10銭  
商店の価格

7銭  
公設市場の価格



豆腐の値段の一例 (1919年)

memo

### 御用聞きと掛け売り・付け買い

江戸時代からの伝統的な掛け取引も、引き続き行われていた。米、酒といった商品では商店の主人や従業員が顧客の家々を回って御用聞きと配達をし、月末などにまとめて支払う習慣が残っていた。



家を回り注文を帳簿に記す御用聞きの商人

「二十四時家庭双六」より 国立歴史民俗博物館蔵

# 11 金融恐慌

## Financial Crisis

### 銀行取付けと日銀の緊急貸出

Mass Bank Runs and Emergency Loans by the Bank of Japan

**第** 一次世界大戦後の不況により企業や銀行の経営が不安定となり、1927 (昭和2) 年の金融恐慌では、銀行に預金していた人たちが不安を感じて窓口で殺到した (銀行取付け)。日本銀行は市中銀行に緊急の貸出を行い、預金者の不安を鎮めるよう努めた。

### 金融恐慌と日本銀行券

1927年の銀行取付けでは、預金を引き出して日本銀行券を求めた人々が市中銀行の窓口で殺到し、日本銀行券の発行額は1ヶ月足らずの間に約2倍に増えた。



金融恐慌時に発行された「裏白紙幣」乙二百円券  
200 Yen Bank of Japan Note (Single-Sided Printing)

大量の紙幣が急遽必要になったため裏面の印刷を省いた日本銀行券が発行された。



新しい日本銀行券二百円券を報じる記事  
An Article Reporting the Issuance of a New 200 Yen Bank of Japan Note  
国立国会図書館蔵

memo

### 第一次世界大戦の頃のお金

#### 大戦景気と日本銀行券

第一次世界大戦中の好景気により銀行券の中で特に十円券の発行が増加したため、日本銀行は、十円券と百円券の間の額面である二十円券を新たに発行した。



甲二十円券  
1917年

#### 政府によって発行されたお金

小口の支払いのための小銭の需要が増加するなか、小額貨幣の材料として使われてきた銀が値上がりして額面を上回るようになり、銀貨は鋳つぶされた。政府は、小額面の政府紙幣を発行したり、金属貨幣の小型化や材料の変更などを行った。



小額政府紙幣 十銭紙幣  
1917年



小額政府紙幣 二十銭紙幣  
1917年



一銭青銅貨  
1916年



十銭白銅貨  
1920年



五十銭銀貨  
1922年

# 12 金との決別

管理通貨制度への移行  
Departure from the Gold Standard



日本銀行本店2号館(1935年竣工)、3号館(1938年竣工)

## 管理通貨制度とは？

What Is a Managed Currency System?

**自** 国のお金の価値を金と切り離し、中央銀行が行う金融政策を通じて自国通貨を管理する制度を「管理通貨制度」という。日本は、世界恐慌が深刻化するなか、1931(昭和6)年末にイギリスに続いて金本位制から離脱し、管理通貨制度に移行して今日に至っている。

## 兌換文言の消滅

1931年12月以降、日本銀行券の金貨との兌換は停止されたが、将来は金本位制に復帰することが考えられていた。1942年、日本銀行法により制度として銀行券の兌換を行わないことになり、兌換文言は券面から消滅した。



日本銀行券  
い五円券  
1942年



日本銀行券  
ろ五円券  
1943年

日本銀行法に基づく最初の日本銀行券  
The Earliest Bank of Japan Note Under the Bank of Japan Act of 1942

## 戦時中のお金

従来、補助貨は貨幣法に基づき発行されていたが、1938年に制定された臨時通貨法のもとで、紙幣を含む小額貨幣の発行が弾力的に行えるようになった。

その後、材料を節約・変更したり製造方法を簡略化したお金が次々に発行された。



アルミニウム青銅貨  
Aluminum-Bronze Coin  
十銭  
1938年



アルミニウム貨  
Aluminum Coin  
十銭  
1940年



錫貨  
Tin Coin  
十銭  
1944年



錫亜鉛貨  
Tin-Zinc Coin  
一銭  
1944年

お金の材料として使われてきたニッケルや銅が不足したため、アルミニウムや錫などでお金がつけられた。



陶貨(発行せず) Ceramic Coins 1945年製造



小額政府紙幣 五十銭紙幣  
50 Sen Government Note  
1942年



小額日本銀行券 い十銭券  
10 Sen Bank of Japan Note  
1944年

印刷様式を簡略化した小額面の日本銀行券が発行された。

# 13 新円切替えと人々の生活

Daily Life Under Compulsory Depositing and the Introduction of the New Yen

## 戦後インフレ

Postwar Inflation

**第** 二次世界大戦の戦費や戦後の復興のための費用を日本銀行が発行する銀行券でまかなったため、お金の発行が急増し、急激なインフレが発生した。短期間のうちに価値が目減りする紙幣は、受け取りを拒否されることもあった。

## 新円切替えとインフレの再燃

1946(昭和21)年、政府は、通貨量の増加とインフレの進行を抑えるため、それまで流通していた銀行券の通用を停止し、新しい銀行券(「新円」)による預金の引き出しを厳しく制限した。その後、復興費用を日本銀行券の増発によりまかなったことから激しいインフレが再燃した。1949年にドッジ・ラインとよばれる緊縮政策がとられ、インフレは収束した。

[戦後の新しい日本銀行券] Bank of Japan Notes After World War II

1946年3月以後、それまで使われてきた銀行券は通用停止となり、代わりに新しい日本銀行券(新円)が発行されることとなった。



日本銀行券 A百円券  
100 Yen Bank of Japan Note  
1946年



日本銀行券 A十円券  
10 Yen Bank of Japan Note  
1946年

[新円切替え時の応急措置] Emergency Measures for the Introduction of New Yen Notes

通用力を失う旧銀行券の代わりに発行された新銀行券の供給不足を補うため、1946年10月末までは証紙を貼った旧銀行券を新銀行券とみなし流通させた。



証紙貼付銀行券  
Revalidated Old Note with a Sticker  
1946年



銀行券証紙  
Stickers to Revalidate Notes Which Had Become Invalid Under the Extraordinary Imperial Ordinance of Feb. 1946  
1946年

## 戦後の小額貨幣 円未満の単位のお金

戦時中に金属の不足から紙幣として発行されるようになった円未満のお金は、戦後再び金属貨幣として発行された。しかし、金属の不足が続いたことなどから、紙幣も発行された。



五十銭黄銅貨  
50 Sen (Brass)  
1947年



日本銀行券 A十銭券  
10 Sen Bank of Japan Note  
1947年



政府紙幣 B五十銭紙幣  
50 Sen Government Note  
1948年

1953年末に銭・厘単位の貨幣は通用停止となった。

memo

### お金の価値の下落とヤミ市



戦後の混乱の中でお金の価値は下がり続け、同額のお金で買える物が日に日に減っていった。戦後、配給の不足を補うために都市に住む人々はヤミ市を利用した。ヤミ市などでは先行きもお金の価値が下がることを予想した売り手が、お金の受け取りを拒否することもあった。

渋谷のヤミ市の様子 白根記念渋谷区郷土博物館・文学館蔵

### 世界のインフレと紙幣

戦争や政治体制の混乱などを契機として、急激なインフレが発生した時期に発行された世界各地の紙幣。



フランス (アッシニア紙幣)  
18世紀末

フランス革命政府が乱発した紙幣は価値が急落し、受け取りを拒否されることもあった。



ドイツ  
100,000,000,000,000 マルク (100兆)  
1923年

第一次世界大戦後、紙幣価値が急落し、100兆マルク紙幣も発行された。



ハンガリー  
1,000,000,000,000,000,000 ペンゴ (10垓 : 10億兆)  
1946年

第二次世界大戦後、破局的なインフレに見舞われ、1946年8月には旧通貨  $4 \times 10^{29}$  ペンゴが新通貨の1フォリントと交換された。



ドイツ  
緊急紙幣  
1910~1920年代

第一次世界大戦から戦後にかけてインフレが進行するなかで、各地の自治体などが独自に紙幣を発行した。

# 現代へ

## 現代のお金

### Money in Our Times

21世紀の今日まで、お金は私たちの生活を支える大切な役割を担ってきました。

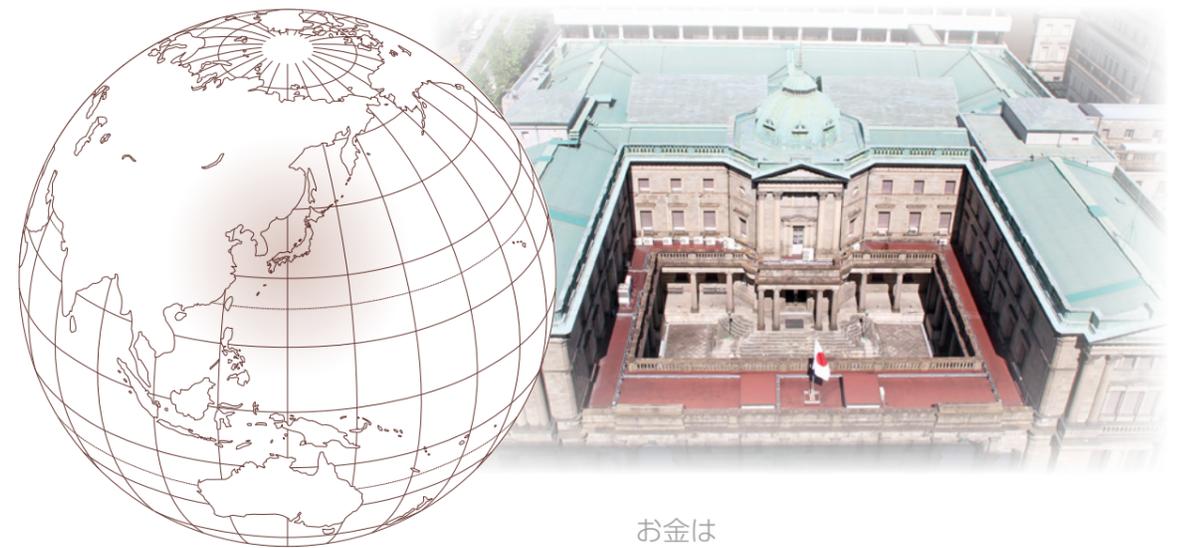
大勢の人が「これはお金だ」と思うものが、その時代、その地域で「お金」として使われてきました。

時代の移り変わりの中で、お金の姿かたちや使われ方はさまざまに変化してきましたが、お金の大切さは変わっていません。このお金の価値を安定させること、それが日本銀行の大切な仕事です。

#### Today

Money continues to play an essential role in supporting our way of life, from ancient times right up to the 21st century today. What people have recognized as money has varied over time and also from place to place.

Even though the shape of money and how it is used have changed in many different ways over time, the importance of money remains unchanged. Ensuring stability in the value of money is an important responsibility of the Bank of Japan.



お金は  
さまざまなものと交換され  
さまざまな人の間で使われ  
時にたくわえられ  
私たちの暮らしを支えています